

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第8章 生涯を通じた健康づくりの推進

第4節 病気にならない（未病を治す）取り組み

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部健康増進課

1 課題に対する平成 25 年度の実績

(1) 「かながわ健康プラン 21」に基づく県民健康づくり運動の推進

- 県民に対し、より効果的な施策の推進を図るため、有識者や先進的な取り組みを行う民間企業、自治体等により検討を行う健康寿命日本一戦略会議を設置した。（平成 25 年 5 月）
- 健康寿命日本一フォーラムを開催した。（参加者約 350 名）
- 生活習慣病等の防止を図る「食」「運動」「社会参加」の取り組みを社会全体で取り組むよう「未病を治すかながわ宣言」発表した。（平成 26 年 1 月）
- 県内の各団体・関係機関や市町村とともに健康づくりを推進するために、かながわ健康プラン 21 推進会議を開催（2 回）した。
- かながわ健康プラン 21 の事業検証と、県民、関係団体、行政間で効果的な推進を図るために神奈川県生活習慣病対策委員会を開催（1 回）した。
- かながわ健康プラン 21 推進会議の構成団体がイベントやセミナー等（かながわ健康財団による各種イベントにおける簡易測定等）を開催し、ホームページで情報提供した。
- かながわ健康プラン 21 推進会議構成団体、県保健福祉事務所、各種イベントや会議・研修、県民健康栄養調査等において、かながわ健康プラン 21（第 2 次）の概要版リーフレット（新「かながわ健康づくり 10 か条」含む）を活用して計画を普及した。（概要版配布件数：6,340 部）
- 県民、企業、学校、行政が一体となって、円滑に計画を推進するため、かながわ健康プラン 21 地域・職域連携推進部会を開催（1 回）
- 市町村への情報提供及び連絡調整のため、市町村健康増進事業主管課長会議を開催（2 回）するとともに、研修、健康教育を実施した。
- 健康づくりの地域・職域連携推進事業を実施した。

（主な実施状況）

	回数	参加人数	備 考
会議	13 回	238 人	（県と 5 つの二次医療圏）
研修	10 回	536 人	（県と 5 つの二次医療圏）
健康教育	154 回	3,439 人	

(2) 医食農同源の推進
→医食農同源の取組みについて検討する医食農同源研究会(漢方理解促進等検討部会1回)を開催(2回)した。また、漢方理解促進等検討部会を開催(1回)した。 →県民等がパソコン等により利用できる漢方診断の症例を活用した未病チェックシートを作成した。 →高機能性食品研究として新たに野菜等を使用したレシピを作成のうえ、平成24年度に作成したレシピを一冊にまとめた「かながわの医食農同源メニュー」を発行(750部)した。 →医食農同源の考えや取組みを広く県民に普及啓発するチラシを発行(計26,000部)した。 →食の専門家を対象とした医食農同源研修会(参加者80名)、一般の方を対象とした医食農同源セミナー(参加者36名)を開催し、「医食農同源」の健康観を普及した。
(3) 食生活習慣の改善に向けた普及啓発の推進
→特定給食施設等に対して、栄養管理基準を遵守または実施し、利用者に応じた身体状況及び栄養指導等を踏まえた食事の提供が行われるよう、実地調査及び指導・助言を行った。 (実地調査及び指導件数:1,426件(全1,311施設)) (栄養管理講習会:97回、1,820施設、2,136人) →地域特性に応じた栄養・食生活対策を推進するため、食生活に係る地域関係者(医療、福祉職等)を対象とした食生活支援担当者等研修会を実施した。 (食生活支援担当者等研修会:18回、502名)
(4) 食育の推進
→「神奈川の食育をすすめる会」参加企業、関係団体、学校など連携し「かながわ食育フェスタ」を開催(平成25年8月)し、県内の市町村、関係団体、学校・企業などの様々な食育の取組を紹介した。(来場者:約2,800名) →若者の野菜摂取を向上するため、簡単にできる野菜レシピ集を季節ごとに作成・配布した。
(5) 生活習慣病予防効果を目指す保健活動方法の確立
→海老名市、寒川町、大磯町の3市町をモデル事業実施地域として、生活習慣病の重症化・合併症予防に重点を置き生活改善につながる新たな保健指導モデルの構築を目的とした生活習慣病予防強化型保健指導推進事業を開始した。(事業期間:平成25年度～平成27年度) ・家庭訪問・郵送等による初回保健指導を実施し、継続保健指導(グループ支援)への参加勧奨を行った。 ・継続保健指導は月1回の頻度で実施し、食生活の改善を中心に、参加者自身が気付き行動を変えるための保健指導を行い、生活習慣を改善することで検査値の改善を目指し、今後継続実施予定。

2 参考指標の推移

取組 区分	指標 区分	指標名	単位	神奈川県		出典等
				H24 年度	H25 年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 「かながわ健康プラン21」に基づく県民健康づくり運動の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・新たに策定された「かながわ健康プラン21(第2次)」を基に、県民健康づくり運動を円滑に進めるため、会議や部会等で検討を進めた。
評価理由	検討は順調に進められており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組 の方向性	・今後も検討を重ね、引き続き、県民健康づくり運動を推進する。

(2) 医食農同源の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・医食農同源の取組みについて、研究会等で検討を進めるほか、これまでの成果を、メニュー集やチラシ、セミナー等で県民へ広く普及啓発した。
評価理由	高機能食品研究及び漢方理解促進について、検討が順調に進められ、チラシやメニュー集の配布、セミナー開催により医食農同源の考え方の普及やレシピを県民に活用いただけており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組 の方向性	・今後も検討を重ね、引き続き、医食農同源の取組みの推進及び普及啓発を行う。

(3) 食生活習慣の改善に向けた普及啓発の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・地域の関係機関等と連携を図りながら食生活支援を行う専門職種等関係者への研修を企画実施した。
評価理由	医療機関等関係機関との連携のもと、広域的又は専門的な知識及び技術を必要とする栄養指導や、難病患者及び合併症患者等疾病者に対する食生活支援者へ最新の知見や技術の取得できる研修を実施するなど、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組 の方向性	・今後も関係機関等と連携を取りながら地域の実情に合った研修の企画実施に繋げていく。

(4) 食育の推進

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	かながわ食育フェスタの来場者数は、前年度から 3.7%の増となった。
評価理由	かながわ食育フェスタの来場者数は、毎年順調に増加しており、食育に対する県民の関心を高まっており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	今後も様々な主体と連携し、引き続き食育を推進していく。

(5) 生活習慣病予防効果を目指す保健活動方法の確立

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	継続保健指導参加者のうち、65.8%の者の検査値が改善した。
評価理由	継続保健指導を月 1 回の頻度で実施し、参加者自身が気付き行動を変えるための保健指導を行い、参加者が生活習慣を改善した結果、検査値が改善している。
今後の取組みの方向性	今後も継続して保健指導を行い、保健指導モデルの構築を目指す。

4 総合評価

評価	評価理由
B	未病を治すという考え方は、市町村、関係団体、企業等と連携・協力のもと、着実に県民の間に浸透し始めており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

5 特記事項

--